

池田恵一君が逝去

池田恵一君（7組、丸子町出身、さいたま市在住）が3月18日に亡くなりました。葬儀は家族葬として、執り行われるとのことでした。

スポーツマンの同君は同期のテニスの会やゴルフコンペの常連でもありました。

65期HPのアーカイブスを索引すると、2010年4月3日に、池田君の地元である岩槻で同期テニスの会が開催され、盛り上がった様子を見ることができます。

（2023年3月22日、上原記）



在りし日の池田君

【追悼文】

池田恵一が亡くなった

佐藤 彰（10組）

西澤省悟(7組)から「池田恵一が亡くなった」と連絡を受けた。

一瞬、何であんなタフな奴がと思った。恵一との思い出が走馬灯のように駆け巡る。

俺は10組。7組の恵一と知り合ったのは、10組の竹田敏と7組の西澤が中学の同級生だったからだ。恵一が俺の親父と同じ丸子の出身なので、余計親しみを感じた。

大学2年生の夏休み、俺と恵一、山浦信幸(10組)の3人で親父のブルーバードで、ドアに恵一の発案で「日本一周」と書いて西日本を旅した。楽しかった。

恵一が竹田にドイツ語の追試を代わりに受けるように頼んだ。

恵一が伝え忘れたけれど、当日は辞書持ち込み可だった。竹田は隣から辞書を借りて、そいつにも回答を教えてやった。

その後、恵一は言った「優じゃなかった」。竹田に「追試で優をくれるわけないだろう」と言われた。報酬は「上」の握り寿司一人前だったとのこと。

俺が小諸に戻ってからも、恵一はいつも突然登場した。

妻は「恵一っちゃん」の大ファンである。俺抜きで長電話なんかしていた。

妻曰く「恵一っちゃん、て竹田さんの母も妻も兄嫁さんもみんなそう呼んでたけれど、全員が大ファンだと思いますよ」

昨年、恵一から家庭菜園の指導を受けたものの、当方は落第点ばかりであった。

今頃、竹田に会っているのかな。また、身代わり試験とは言えない。

恵一、お前さんとは楽しい思い出ばかりだ。ありがとう。 合掌

以上